

(公表用様式)

## 業務再点検結果報告

組織名	関東農政局土地改良技術事務所	連絡先	048-254-0511(内線 201)
所管する業務の概要	土地改良事業の実施に関する技術基準の作成及び当該基準に関する指導に関する事務、設計及び積算その他の事業の実施についての電子計算化システムの開発を行う		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
外部からの問い合わせに対して、接遇マニュアルを参考に、丁寧かつ迅速な対応を心がけている。	情報管理マニュアルを充実させ、周知・活用の徹底を図り、丁寧かつ迅速な対応を心がける。 ネームプレート着用、ビジョンステートメントの実行について、再度徹底を図る。
効率的な業務運営に資するため、定期的に打合せを行い、情報の共有に努めている。	連絡事項の共有だけではなく、積極的な意見交換により、各職員が業務の状況を相互に理解して補完し合い、更なる業務の効率化を図る。

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
当事務所の業務等について、アンケート調査により評価を把握し、業務の改善に努めている。	今後も継続して評価の分析、業務の改善に努める。
関係機関との連携により、業務の適正かつ効率的な実施に努めている。	一部に関係機関との連携が十分でないケースもあることから、関係機関と積極的に連絡調整を行い、業務の更なる効率的な実施に努める。
各部署においてユーザーからの意見・要望事項を集約し、業務の効率的な実施に活用している。	事業実施効率化のための技術支援ツールの一部に、十分に活用されていないものがあることから、原因を調査・分析し、より一層の活用に向けた改善を図る。

3. リスク管理	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
業務継続計画を策定し、周知を図っていると同時に、訓練を実施している。	業務継続計画の中に記載した、計画的に講じる措置を着実に実施する。
毎年度、設計・積算におけるヒヤリハット事例をまとめ、事業所に説明している。	これまでに集約した事例の活用について、周知徹底の方法を改善する。
4. その他の重要な取組	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
入札・契約手続の改善により、透明性の確保に努めている。	毎年、契約手続き等の改善措置をとっているが、手続きに不慣れな面があることから、マニュアルの作成、説明会の開催等により職員への一層の周知に努める。
技術研修の実施により、職員の技術力の向上に努めている。	技術研修の充実・強化、資格取得の推奨により、職員の技術力の更なる向上に努める。